

令和 8 年度地域未来交付金（地域未来推進型 ※旧第 2 世代交付金）について

1 基本方針

(1) 日本遺産「麒麟のまち」推進協議会の体制強化による地域活性化事業

日本遺産を最大限に活用し地域活性化を図るため、日本遺産推進の組織体制を強化する。

(2) インバウンド等受入体制整備事業

外国人など観光客の利便性向上を図るため受入環境の整備を推進し、圏域内での観光入込客数の増加や観光消費額を向上させ、圏域経済の活性化を図る。

(3) 歴史・文化・郷土芸能等を活用した圏域の魅力発信・普及啓発事業

日本遺産「麒麟のまち」の情報を国内外へ発信し認知度を向上させるとともに、魅力あるイベントの開催などにより圏域に魅力を感じ愛着を持つ「麒麟のまち」のファンをつくり、流動的に関わる人口の増加と地域活性化を図る。

(4) 人材育成事業

圏域の伝統芸能や人々と関わることで、圏域への愛着や誇りが醸成されるとともに、伝統芸能等の担い手発掘・育成などの人材を育成し、圏域全体の持続的な発展を図る。

2 KPI の設定

(1) 圏域を訪れる旅行者の観光消費額

【R5 年度】 31,891 円 → 【R9 年度】 34,935 円

(2) 鳥取県東部の外国人観光入込客数

【R5 年度】 51,232 人 → 【R9 年度】 65,600 人

※鳥取県「観光入込動態調査」に基づく

(3) 「このへん共和国」会員登録数

【R7.1.10 時点】 9,244 人 → 【R9 年度】 10,700 人

※DMO導入の観光CRMシステムに基づく

(4) 日本遺産・麒麟獅子舞の保存継承プログラム参加者数

【R5 年度】 26 人 → 【R9 年度】 51 人

3 連携事業

(単位：千円)

地方創生推進交付金活用			事業費（申請額）			
事業名	事業内容（R8）	市町	R7	R8	R9	計
日本遺産 「麒麟のま ち」推進協 議会の体制 強化による 地域活性化 事業	日本遺産「麒麟のまち」推進協議会負担金	鳥取市	11,280	11,280	11,280	33,840
		岩美町	470	470	470	1,410
		若桜町	470	470	470	1,410
		智頭町	470	470	470	1,410
		八頭町	470	470	470	1,410
		香美町	470	470	470	1,410
		新温泉町	470	470	470	1,410
	小 計		14,100	14,100	14,100	42,300
インバウン ド等受入体 制整備事業	日本遺産情報発信拠点整備事業 ほか	鳥取市	97,960	90,388	80,820	269,168
	グリーンスローモビリティの運行	若桜町	16,207	8,438	9,533	34,178
	智頭町インバウンドツアー造成事業 ほか	智頭町	10,000	10,000	10,000	30,000
	構成文化財改修工事	八頭町	1,435	1,000	0	2,435
	日本遺産情報発信拠点整備事業 ほか	新温泉町	2,250	2,088	6,750	11,088
	小 計		127,852	111,914	107,103	346,869
歴史・文 化・郷土芸 能等を活用 した圏域の 魅力発信・ 普及啓発事 業	麒麟のまち聖地巡礼デジタルスタンプラリー事業 ほか	鳥取市	37,675	23,572	27,300	88,547
	岩美町グルメウォーキングイベント ほか	岩美町	5,333	1,000	1,333	7,666
	町内周遊スタンプラリー ほか	若桜町	9,014	9,764	9,014	27,792
	インバウンド誘致に向けた智頭町の魅力発信事業 ほか	智頭町	10,280	10,280	10,280	30,840
	芸術文化交流施設魅力発信強化事業 ほか	八頭町	2,000	9,500	500	12,000
	日本遺産構成団体及び協力団体支援事業 ほか	新温泉町	2,230	1,510	4,170	7,910
	小 計		66,532	55,626	52,597	174,755
人材育成事 業	麒麟のまち圏域学生・若手社会人交流事業 ほか	鳥取市	1,040	1,329	1,817	4,186
	日本遺産但馬麒麟獅子舞・こども体験教室	新温泉町	300	100	100	500
	小 計		1,340	1,429	1,917	4,686
合 計			209,824	183,069	175,717	568,610

※R7は最終の採択額、R8はR8.1.27とりまとめ時点

4 今後のスケジュール

(1) 事業実施計画書の事前相談

令和 8 年 2 月 2 日

(2) 事業実施計画書の提出

令和 8 年 2 月 5 日

(3) 交付決定

3 月下旬又は令和 8 年度予算成立後（予定）